

第 7 期 事 業 年 度
(平成 2 2 年度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

平成22年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,595	5,596	1	
施設整備費補助金	0	492	492	(注1)
補助金等収入	0	187	187	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	32	31	△ 1	(注3)
自己収入	14,509	15,527	1,018	
授業料、入学金及び検定料収入	650	635	△ 15	(注4)
附属病院収入	13,734	14,676	942	(注5)
雑収入	125	216	91	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,007	1,607	600	(注7)
引当金取崩	0	33	33	
長期借入金	24	24	0	
目的積立金取崩	0	21	21	(注8)
計	21,167	23,518	2,351	
支出				
業務費	19,075	19,501	426	(注9)
教育研究経費	6,370	6,145	△ 225	
診療経費	12,705	13,356	651	
施設整備費	56	547	491	(注10)
補助金等	0	187	187	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,007	1,382	375	(注12)
長期借入金償還金	1,029	1,150	121	(注13)
計	21,167	22,767	1,600	
収入－支出	0	751	751	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備補助金については、耐震・エコ再生事業等の繰越により、予算額に比して決算額が492百万円多額となっています。
- (注2) 予算段階では予定していなかった国からの補助金を獲得したため、予算額に比して決算額が187百万円多額となっています。
- (注3) 国立大学財務・経営センター施設費交付金が減額されたことにより予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として長期履修生の増等のため、予算額に比して決算額が15百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、患者数の増及び手術料単価の向上等により、予算額に比して決算額が942百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入等については、主として不用物品売払の増等のため、予算額に比して決算額が91百万円多額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国の組織、特殊法人からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が600百万円多額となっています。
- (注8) 目的積立金取崩については、決算に係る繰越が承認されたこと等により、予算額に比して決算額が21百万円多額となっています。
- (注9) 業務費については、診療経費において患者数等の増に伴う医療材料費の増等により、予算額に比して決算額が426百万円多額となっています。
- (注10) (注1)及び(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が491百万円多額となっています。
- (注11) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が187百万円多額となっています。
- (注12) (注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が375百万円多額となっています。
- (注13) 長期借入金償還金については、長期借入金の利率の変更等のため、予算額に比して決算額が121百万円多額となっています。